

CASBEE® - 建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版、CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	東京軽合金新厚生棟	階数	地上4F
建設地	埼玉県行田市富士見町 1丁目 21-	構造	S造
用途地域	工業専用地域	平均居住人員	60 人
地域区分	5地域	年間使用時間	2,550 時間/年(想定値)
建物用途	事務所	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2018年12月 予定	評価の実施日	2018年7月9日
敷地面積	27,251 m ²	作成者	鯨井俊夫
建築面積	594 m ²	確認日	2018年7月9日
延床面積	2,255 m ²	確認者	大野年司

外観パース等

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.9 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100% (138 kg-CO₂/年・m²)

②建築物の取組み 67% (92 kg-CO₂/年・m²)

③上記+②以外の 67% (46 kg-CO₂/年・m²)

④上記+ 67% (46 kg-CO₂/年・m²)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.7

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.1

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.9

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 1.9

LR 環境負荷低減性

LR のスコア = 3.1

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.5

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.4

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.1

3 設計上の配慮事項		その他
総合 水回りのコアを集合することにより、配管劣化時における改修のしやすさを配慮し、高寿命の建物計画とする。		
Q1 室内環境 窓は、全てペアガラスを採用し遮音性を配慮しています。	Q2 サービス性能 執務室にゆとりを設け、快適空間を目指しています。	Q3 室外環境(敷地内) 華美な外装を避け、周辺の景観に配慮しています
LR1 エネルギー LED照明を採用し、省エネルギーに配慮しています。	LR2 資源・マテリアル 仕上材及び下地材は全てF☆☆☆☆仕様とし、環境にやさしい建物としています。	LR3 敷地外環境 従業員の駐輪場・駐車場の整備による交通渋滞緩和に配慮しています。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

CASBEE-建築(新築)2016年版、CAS
東京軽合金新厚生棟

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版、
欄に数値またはコメントを記入 ■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

スコアシート		実施設計段階							
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体			
		Q 建築物の環境品質						2.7	
Q1 室内環境			0.40		-		3.1		
1 音環境		2.6	0.15	-	-		2.6		
1.1 室内騒音レベル		3.0	0.40	3.0	-				
1.2 遮音		3.0	0.40	-	-				
1 開口部遮音性能		3.0	0.60	3.0	-				
2 界壁遮音性能		3.0	0.40	3.0	-				
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		3.0	-	3.0	-				
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		3.0	-	3.0	-				
1.3 吸音		1.0	0.20	3.0	-				
2 温熱環境		3.0	0.35	-	-		3.0		
2.1 室温制御		3.0	0.50	-	-				
1 室温		3.0	0.38	3.0	-				
2 外皮性能		3.0	0.25	3.0	-				
3 ゾーン別制御性		3.0	0.38	-	-				
2.2 湿度制御		3.0	0.20	3.0	-				
2.3 空調方式		3.0	0.30	3.0	-				
3 光・視環境		3.0	0.25	-	-		3.0		
3.1 昼光利用		3.0	0.30	-	-				
1 昼光率		3.0	0.60	3.0	-				
2 方位別開口		-	-	-	-				
3 昼光利用設備		3.0	0.40	3.0	-				
3.2 グレア対策		3.0	0.30	-	-				
1 昼光制御		3.0	1.00	3.0	-				
3.3 照度		3.0	0.15	3.0	-				
3.4 照明制御		3.0	0.25	3.0	-				
4 空気質環境		4.0	0.25	-	-		4.0		
4.1 発生源対策		5.0	0.50	-	-				
1 化学汚染物質	仕上材及び下地材は全てF☆☆☆☆仕様とする	5.0	1.00	3.0	-				
4.2 換気		3.0	0.30	-	-				
1 換気量		3.0	0.33	3.0	-				
2 自然換気性能		3.0	0.33	3.0	-				
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.33	3.0	-				
4.3 運用管理		3.0	0.20	-	-				
1 CO ₂ の監視		3.0	0.50	-	-				
2 喫煙の制御		3.0	0.50	-	-				
Q2 サービス性能		-	0.30	-	-		2.9		
1 機能性		2.8	0.40	-	-		2.8		
1.1 機能性・使いやすさ		2.3	0.40	-	-				
1 広さ・収納性		3.0	0.33	3.0	-				
2 高度情報通信設備対応		3.0	0.33	3.0	-				
3 バリアフリー計画		1.0	0.33	-	-				
1.2 心理性・快適性		3.0	0.30	-	-				
1 広さ感・景観		3.0	0.33	3.0	-				
2 リフレッシュスペース	食堂・休憩室設置	5.0	0.33	-	-				
3 内装計画		1.0	0.33	-	-				
1.3 維持管理		3.5	0.30	-	-				
1 維持管理に配慮した設計		3.0	0.50	-	-				
2 維持管理用機能の確保	便所内に掃除用具入れ・SK設置による美化に努める	4.0	0.50	-	-				
2 耐用性・信頼性		3.0	0.30	-	-		3.0		
2.1 耐震・免震・制震・制振		3.0	0.50	-	-				
1 耐震性(建物のこわれにくさ)		3.0	0.80	-	-				
2 免震・制震・制振性能		3.0	0.20	-	-				
2.2 部品・部材の耐用年数		3.0	0.30	-	-				
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.20	-	-				
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		3.0	0.20	-	-				
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.10	-	-				
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.10	-	-				
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		3.0	0.20	-	-				
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.20	-	-				
2.4 信頼性		3.0	0.20	-	-				
1 空調・換気設備		3.0	0.20	-	-				
2 給排水・衛生設備		3.0	0.20	-	-				
3 電気設備		3.0	0.20	-	-				
4 機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-				
5 通信・情報設備		3.0	0.20	-	-				

3 対応性・更新性			3.0	0.30	-	-	3.0
3.1 空間のゆとり			3.0	0.30	-	-	
1 階高のゆとり			3.0	0.60	3.0	-	
2 空間の形状・自由さ			3.0	0.40	3.0	-	
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.30	3.0	-	
3.3 設備の更新性			3.2	0.40	-	-	
1 空調配管の更新性			3.0	0.20	-	-	
2 給排水管の更新性		天井裏(梁下)に配管スペース確保	4.0	0.20	-	-	
3 電気配線の更新性			3.0	0.10	-	-	
4 通信配線の更新性			3.0	0.10	-	-	
5 設備機器の更新性			3.0	0.20	-	-	
6 バックアップスペースの確保			3.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	1.9
1 生物環境の保全と創出			1.0	0.30	-	-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			1.5	0.30	-	-	1.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			1.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上			2.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.1
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	3.5
1 建物外皮の熱負荷抑制			2.6	0.20	-	-	2.6
2 自然エネルギー利用			3.0	0.10	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化		[BEI][BEIm] = 0.54	5.0	0.50	-	-	5.0
4 効率的運用			1.0	0.20	-	-	1.0
集合住宅以外の評価			1.0	1.00	-	-	
4.1 モニタリング			-	-	-	-	
4.2 運用管理体制			1.0	1.00	-	-	
集合住宅の評価			-	-	-	-	
4.1 モニタリング			3.0	-	-	-	
4.2 運用管理体制			3.0	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	2.4
1 水資源保護			2.2	0.20	-	-	2.2
1.1 節水			1.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-	-	
1 雨水利用システム導入の有無			3.0	0.70	-	-	
2 雑排水等利用システム導入の有無			3.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			2.4	0.60	-	-	2.4
2.1 材料使用量の削減			2.0	0.10	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.20	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用			3.0	0.20	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用			1.0	0.20	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材			2.0	0.10	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み			3.0	0.20	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.0	0.20	-	-	3.0
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.30	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			3.0	0.70	-	-	
1 消火剤			-	-	-	-	
2 発泡剤(断熱材等)			3.0	0.50	-	-	
3 冷媒			3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.1
1 地球温暖化への配慮		ライフサイクルCO2排出率換算値より	4.3	0.33	-	-	4.3
2 地域環境への配慮			2.5	0.33	-	-	2.5
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善			2.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.0	0.25	-	-	
1 雨水排水負荷低減			3.0	0.25	-	-	
2 汚水処理負荷抑制			3.0	0.25	-	-	
3 交通負荷抑制			3.0	0.25	-	-	
4 廃棄物処理負荷抑制			3.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮			2.7	0.33	-	-	2.7
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	
1 騒音			3.0	0.33	-	-	
2 振動			3.0	0.33	-	-	
3 悪臭			3.0	0.33	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制			1.6	0.40	-	-	
1 風害の抑制			1.0	0.70	-	-	
2 砂塵の抑制			3.0	-	-	-	
3 日照障害の抑制			3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制			4.4	0.20	-	-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		広告物照明設置なし	5.0	0.70	-	-	
2 昼光の建物外壁による反射光(グレア)への対策			3.0	0.30	-	-	

CASBEE埼玉県 重点項目シート






■使用評価ソフトバージョン

CASBEE埼玉県2016年版

1 建物概要

建物名称	東京軽合金新厚生棟	BEE	0.9	BEEランク	★★
------	-----------	-----	-----	--------	----

2 重点項目の評価

ライフサイクルCO2の削減のスコア		緑の保全・創出のスコア		
4.3	+	1.6	=	5.9 
重点項目の各スコアの合計点				
がんばろう 6.0未満 	良い 6.0以上 	非常によい 6.8以上 	すばらしい 8.0以上 	

3 重点項目についての環境配慮概要

(1) ライフサイクルCO2の削減		スコア平均	4.3
<CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア>			
LR3 敷地外環境対策	1. 地球温暖化への配慮	スコア	4.3
<配慮した内容を記述>			
(2) 緑の保全・創出		スコア平均	1.6
<CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア>			
Q3 室外環境(敷地内)	1. 生物環境の保全と創出	スコア	1.0
Q3 室外環境(敷地内)	3. 2 敷地内温熱環境の向上	スコア	2.0
LR3 敷地外環境	2. 2 温熱環境悪化の改善	スコア	2.0
<配慮した内容を記述>			

 : 入力欄